

北陸新幹線福井・敦賀開業関連展示 松平文庫テーマ展 48  
江戸の旅いろいろー越前からの旅路、越前への旅路ー

開催要項

**1 会期・場所**

令和6年2月23日（金）～令和6年4月7日（日） 文書館 閲覧室

**2 展示概要**

江戸時代を通じて、大名家や武家が参勤交代など公用の旅行のために街道を行き交い、一般の人びとの間でも各地の寺社参詣や湯治などの旅行がさかんにおこなわれました。

展示では、北陸新幹線の福井・敦賀開業にちなみ、江戸時代の「越前からの旅」や「越前への旅」など、江戸時代の旅に関する資料を紹介します。

**3 主な展示資料**

- ・松平文庫「御用諸式目録」（十七、従御城下所々へ道度事、A0143-02306）

江戸時代に福井城下から江戸へ向かう場合、北陸道・東海道・中山道の各街道を使う場合の里程が書かれています。

- ・松平文庫「御家老中御用留抜集」（A0143-02360）、「越前世譜」（A0143-01819）

福井藩6代藩主松平綱昌の室清照院と豊姫は、1700年（元禄13）9月、江戸を離れ福井を居所とするため旅行した際の北陸道経由の旅に関する記録を含みます。

- ・松平文庫「東海紀行」（A0143-20273）

1844年（天保15）4月29日から5月11日まで、福井藩主松平春嶽が交代のため江戸から東海道を經由して越前福井まで旅行した際の紀行文の草稿です。

- ・吉川充雄家文書（二十四輩参拝記念品）（C0037-00550）

江戸時代中期に親鸞旧跡の二十四輩と称される真宗寺院などを参拝した人物が持ち帰った記念品です。江戸善福寺の「逆さ銀杏」や長野善光寺の「御花松」などがあります。

**4 関連イベント 文書館トークイベント「ゆるっとーク」**

テーマ 江戸時代福井周辺の小さな旅

内容 江戸時代の旅関係の資料から、福井周辺の旅について紹介します。

日時 令和6年3月24日（日） 15:00～16:00

場所 県立図書館多目的ホール

担当 文書館職員